

議会活動レポート



～ ようこそ菊川市へ ～

菊川市議会では、多くの市町からの視察研修を受け入れています。おもてなしの心で対応し、担当を決めて説明を行います。

令和元年度は、茨城県や兵庫県など全国各地から18市町の議会の皆様を迎えました。「議会だよりのリニューアル」「議会改革」等議会活動に関する研修や「家庭医療養成プログラム」「多文化共生」等市の担当課に説明を求める研修などがありました。



「静岡県西部地区市議会議長協議会」 「静岡県市議会議長会定期総会」 菊川市が開催市で行われました

1月15日に県西部地区市議会議長協議会（小菊荘に於いて）、1月31日に県市議会議長会定期総会（掛川グランドホテルに於いて）が菊川市を開催市として実施されました。県内各市議会の正副議長があかつちクリニックの津田センター長の講演や日東工業株式会社の視察に参加しました。



『議会改革第2ステージ』における 議会改革のあり方

1月24日、議会改革への意識を高めようと青森中央学院大学 佐藤准教授をお招きし、議員研究会を開催。議会基本条例が制定され10年が過ぎた今、『議会改革第2ステージ』としてチーム議会の活動の充実、議会改革のサイクル化、政策サイクルの確立が必要とされ、特に市民参加を促し、議会活動の理解・協力を得ること。議員間討議を充実して議案の審査、政策提言を充実させること。市議会が率先して対話によるまちづくりを推進すること。の必要性を感じました。



令和元年度第2回原子力勉強会

2月25日、浜岡原子力発電所の1・2号機の廃止措置工場の現場及び解体撤去物の処理状況を視察しました。

国策による事業であり、解体撤去処分についても厳しい管理が求められていました。リスクはゼロにはならないが技術力向上等ゼロに近づける不断の努力を継続すること。隣接市議会として、廃炉の方向性、放射性廃棄物の処分の行方、再稼働への動きを注視していかなくてはならないと感じました。